

2015年4月6日

広島東洋カープ 御中

新日本婦人の会広島県本部
会長 澤田 カヨ子

広島県労働組合総連合
議長 川后 和幸

原水爆禁止広島県協議会
筆頭代表理事 大森 正信

CARP・自衛隊コラボイベントに抗議します

カープ球団が4月7日（火）に、「CARP×自衛隊DAY」自衛隊コラボイベントとして自衛隊の宣伝活動をおこなうことに対し、抗議し中止を求めます。

報道等で御存知のように、国会では安倍首相が2013年12月に秘密保護法の強行採決、2014年7月1日に集団的自衛権行使容認の閣議決定をおこない、今国会では5月の中旬に集団的自衛権行使容認を法律として具体化する法案が、次々と提案されようとしています。これらが何を意味するかというと、これまで憲法9条が歯止めとなって、戦闘地域に行くことのなかった自衛隊が、これからは世界中のどこでも、どんな戦争でも参加することのできる、実質の軍隊へ変貌してしまうことです。こうした自衛隊をめぐる情勢が、戦後最大の大問題となっているときに、カープ球団が大々的に自衛隊とのコラボイベントをおこなうことは、戦後70年、世界に平和と核兵器廃絶を訴え続けてきたヒロシマの市民として見過ごすことはできません。

イベントでは、始球式での陸士による国歌斉唱、制服を着た自衛隊職員が入場者にクリアファイルなどをプレゼント、呉海自カレー販売、自衛隊の制服試着体験での記念撮影や自衛隊についてのアンケートなど多彩です。また、軽装甲機動車が初めて展示されるなど、市民への、自衛隊の大々的な宣伝に他なりません。

カープ球団設立は、戦後、原爆からの復興のシンボルとなり、戦争や原爆で傷ついた市民を励ましてきました。だからこそ、多くの市民に愛され、支えられてきたのではないのでしょうか。まさに平和の象徴ともいえる市民球団が、このような自衛隊とのイベントをおこなうことは、これまで培ってきた信頼を壊すことになるのではないのでしょうか。

安倍首相の戦争法制づくりと連動した「自衛隊の宣伝にカープファンを利用すること」は許されません。このようなイベントはされないよう、強く抗議をするとともに、中止を求めます。

事務局 広島県労働組合総連合
〒732-0052
広島市東区光町2-9-24-205
T e l 082-262-1550
F a x 082-261-5059